

成形物用シリコンレジン&オリゴマー

成形物用のシリコンとして、脂環式エポキシ基を含むハイブリッド型シリコンオリゴマーX-40-2670や、シリコン分100%で耐熱性に優れるX-40-2667A、X-40-2756をラインアップ。
特にX-40-2756は、従来品よりも高Tgであり、1液で硬化するタイプのため、作業性に優れます。

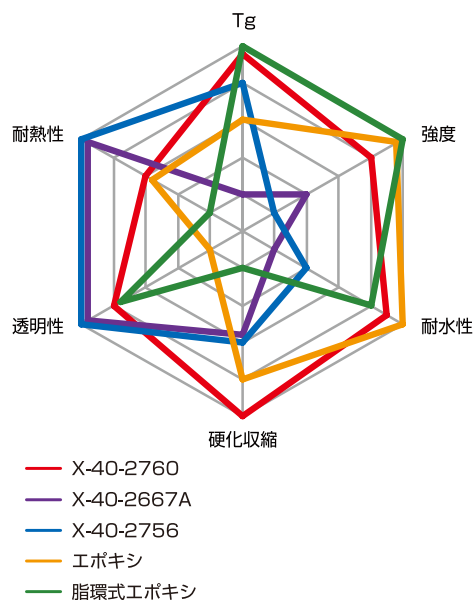
特長

X-40-2670
(脂環式エポキシ基含有シリコンオリゴマー)
トータルバランスに優れる

X-40-2667A
(2液付加硬化型シリコンレジン)
耐熱性に優れる

X-40-2756
(1液付加硬化型シリコンレジン)
耐熱性、低吸水性に優れる

●硬化物性比較チャート

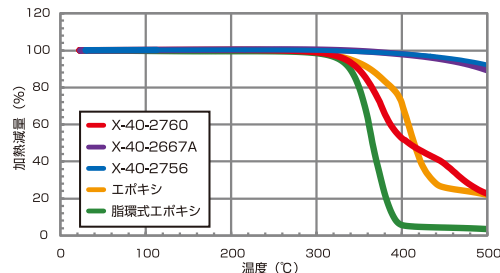


成形物特性

製品名		X-40-2670	X-40-2667A	X-40-2756	エポキシ	脂環式エポキシ
項目						
硬化方式		酸無水物硬化	付加硬化		酸無水物硬化	
標準硬化条件		105℃×2h + 170℃×2h		200℃×16h (タックフリー 1h)	105℃×2h + 170℃×2h	
硬さ ショアD		87	70	67	85	88
曲げ弾性率 MPa		2,590	1,110	707	2,940	3,020
Tg ℃		191	48	170	150	193
硬化による 体積変化率 %		2.1	-3.3	-3.1	-1.7	-5.3
煮沸吸水性						
外観	煮沸前	透明	透明	透明	淡黄色	透明
	煮沸後	変化なし	白化	白化 (24h後透明)	変化なし	変化なし
						
吸水率 %		0.46	0.34	0.10	0.28	0.56

(規格値ではありません)

●耐熱性(加熱減量)



脂環式エポキシ基含有 シリコンオリゴマー X-40-2670

特長

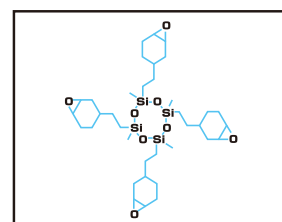
- 酸無水物やアミンなどエポキシ硬化系で硬化可能です。
- 構造が制御されており、反応をコントロールしやすいです。
- 硬化収縮が少ないです。

一般特性

製品名		X-40-2670
項目		
エポキシ官能基数		4
粘度 mPa·s		3,000
エポキシ当量 g/mol		200

(規格値ではありません)

X-40-2670の構造



1液付加硬化型 シリコンレジン X-40-2756

特長

- 1液で硬化が可能です。
- 従来の付加硬化型シリコンレジンよりもTgが高くなっています。
- 低粘度(1,000mPa·s)で作業性が良好です。

成形例



円柱状(直径8.0mm)



シート状(厚さ0.2mm)